

黒田庄まちづくり協議会より 〈兵庫県立大学生のあつまっ亭活性化計画〉

第167号4月

令和元年度に兵庫県立大学生のコミュニティビジネス班が黒田庄地区に入り、黒田庄駅に隣接している西脇市黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」をコミュニティカフェとして生まれ変わらせることを目的とし、カフェ運営や定期的なイベントを開催することで、地域の交流スペースとして活用する。加えて、地域外に住む人々に黒田庄地区の良さを知ってもらうことを目標として、以下のとおり活性化に向けた行動計画や提案がありました。

【行動計画】

①あつまっ亭の明確な活用方針の具体的検討(8~11月)

・コミュニティカフェという計画に沿って、全体的な計画や運営のための条件を調べる。

・アンケートを実施し地域の実情を知る。

②料理提供方法について、黒田庄まちづくり協議会の方々と調整(9月)

・コミュニティカフェにおける料理の方法について意見交換する。

③メニューの開発(9~10月)

・コミュニティカフェにおけるメニュー開発の協力を地元の団体の方々に依頼し、意見交換をする。

④あつまっ亭の設備の充実化(11~12月)

・強い西日対策のためのオーニングテントの取り付けなど、改修しなければならない場所の優先順に充実を図る。

⑤感謝祭での達成目標の決定と実行(8~11月)

・コミュニティカフェの実現に向けて、感謝祭までに何ができるのかについて話し合い、何を行えばいいのかを達成目標として設定し、計画を立て実行する。

【今後の課題・定着に向けた提案】

★あつまっ亭の認知度向上

・ポスターの作成やカフェとしての宣伝を行う。アンケートから地域交流の場所が求められていることが明確であったので、あつまっ亭が交流拠点であるとの認識を住民の方に持ってもらう必要がある。宣伝は地域広報誌を中心に行う。

★惣菜販売

・予約販売を試行的に行い、需要量を見たのちに定期販売をするか決定する。販売状況によれば、アンケートで要望の多かった水曜日以外の曜日での販売も検討する。また、販路拡大に向けた宣伝の一つとしてポスター(案)の作成を学生が行っている。今後はポスターによる広報も行っていく。

★内装・外装の変更

・オーニングの設置が決定し、看板も新たに出来上がる。それに伴い、内装の改装も雰囲気統一し、人々が集いやすい空間を創出していく必要がある。明るく暖かみのある雰囲気を出す木目調のものや暖色系を用いる。

★カフェメニューの充実とワークショップ開催の仕組みづくり

・コミュニティカフェとして利用するため会話を楽しむことを盛り上げる日持ちのする焼き菓子等カフェメニューの充実や、手軽にワークショップを開催できるようにする。

(あつまっ亭活性化実行委員会)



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和2年4月15日発行



黒田庄地区の人口
(R2.4.1現在)
男 3,212
女 3,415
計 6,627
世帯数 2,623
人口前月比 (+4)

(2)

令和2年度黒田庄地区区長会の紹介

今年度の黒田庄地区区長会は次の方々です。(敬称略)

【役員】

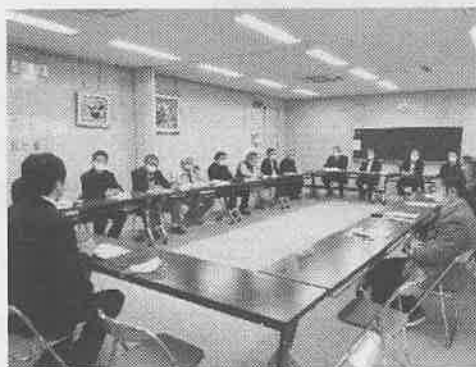
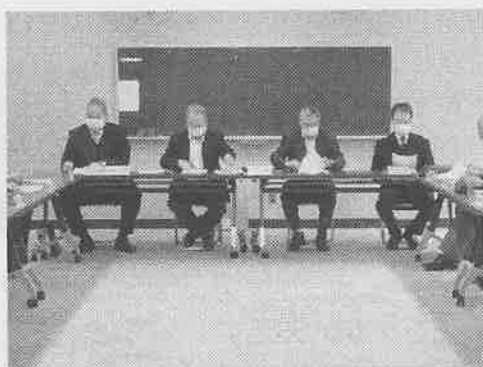
| | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 会 長 | 藤 原 悟 | 副 会 長 | 津 瀬 秀 一 |
| 副 会 長 | 坂 本 政 和 | 会 計 監 査 | 石 井 能 男 |
| 会 計 | 荻 野 芳 樹 | | |



| 集 落 名 | 区 長 名 | 集 落 名 | 区 長 名 |
|-------|---------|-------|---------|
| 喜 多 | 上 月 重 宏 | 西 澤 | 飛 田 正 義 |
| 大 門 | 藤 井 建 | 石 原 | 吉 本 豊 |
| 津 万 井 | 石 井 能 男 | 田 高 | 荻 野 芳 樹 |
| 福 地 | 大 谷 増 男 | 船 町 | 大 石 巧 |
| 岡 | 松 本 芳 和 | 小 苗 | 津 瀬 秀 一 |
| 門 柳 | 村 上 辰 巳 | 黒 田 | 森 脇 弘 巳 |
| 大 伏 | 大 山 岩 一 | 前 坂 | 坂 本 政 和 |

黒田庄地区区長会は、会員相互の連絡調整を図るとともに、西脇市行政機関との関係を密にし、区長会の円滑な運営と豊かな地域づくりに寄与することを目的として、次のような事業が行われます。

- (1) 西脇市の行政施策を研究し、これに協力する。
- (2) 市行政に対して必要な事項を建議する。
- (3) 地区まちづくり事業の推進と自治会活動の活性化を図るための事業。
- (4) その他本会の目的を達成する必要な事業。



川代ダム管理所管理演習のお知らせ

丹波篠山市大山下にある川代ダムに於いて、梅雨や台風に備え、下記の日時に川代ダム上流で洪水が発生したことを想定した管理演習が行われます。

管理演習では、警報車による周知活動やサイレン吹鳴試験が行われる予定です。

日時：令和2年5月8日(金) 午後1時から午後4時まで

場所：川代ダムから篠山川・加古川合流点まで



川代ダム



虹の会工房

就労継続支援B型事業所 & 生活介護事業所

虹の会工房では、地域の皆様のご理解とご協力を得て、地元黒田庄町前坂に「障がい者グループホーム」を令和2年4月1日に開設することが出来ました。

是非とも一度、お越しください。



外観

虹の会工房グループホーム



リビング

食事や団らんなど
みんなで過ごす場所です



居室

ゆっくりと休めるよう
配慮した個室です

賛助会員へのご協力をお願い致します。

NPO法人虹の会工房賛助会員への、ご加入にご賛同いただきますようお願い申し上げます。ご賛同いただける方は、お手数ですが下記までご連絡くださいますようお願い致します。

虹の会工房 電話 28-5128

<黒田庄こども園ニュース>

<卒園おめでとう!!>



去る3月25日に、黒田庄こども園の「卒園式」が挙行されました。

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、例年とは違った形の「卒園式」になりましたが、卒園していく38名の園児たちは、涙もありましたが、胸を張って卒園していきました。一人ひとり卒園証書を受け取り、保護者に感謝を述べて渡していました。 **みんな立派になりました。**

在園児代表のきりん・ぞう組は、遊戯室での卒園式には参加できませんでしたが、園庭で、卒園児に向かって、お祝いの言葉や歌を歌ってくれました。

いつもと違う「卒園式」でしたが、何か心に残る「卒園式」になりました。

卒園おめでとう！小学校へ行っても?? この黒田庄つうしんが家庭に届くころには、みんな小学生になっているんだけど、【黒田庄こども園】のことを忘れないでくださいね。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市当局はもとより、町内の皆様から、消毒用ウエットティッシュやドアノブ・机などの消毒用の液をご支援いただいたり、市内の企業からマスクを寄贈していただいたり、本当にありがたいことです。皆様のご支援に感謝いたします!!

(4)

黒っ娘おばんざいより

平成30年8月からスタートした「黒っ娘おばんざい」。昨年の1月からは、毎週水曜日に黒っこプラザロビーで巻きずし・惣菜の販売がスタートし、同時に北はりま旬菜館で巻きずしの販売が始まりました。現在では、道の駅(田空)でも、巻きずしの販売をしています。また、お弁当等の注文も増えてきています。

毎週水曜日！

黒っこプラザロビーにて販売

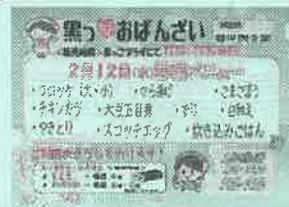
販売時間：午前11時

～午後12時30分頃

- ・巻きずし(黒っ娘巻き・七色巻き)
- ・惣菜(各種)

その週により種類が変わります。

地元の食材を使った、
コロッケ・ごまごぼうが大人気です！



フェイスブック画像

★お弁当の注文も承っております。(10個から)

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

お電話でもかまいません。



道の駅(田空)・旬菜館にて、毎週水曜日、

巻きずし(黒っ娘巻き・七色巻き)を販売しております！



巻きずし体験
イベント



惣菜づくり



イベント出店



「黒っ娘おばんざい」は、黒田庄ビーフを使った食品、惣菜“黒田庄に〇〇あり！”の食で地域の輪を広げ、地域外へも広げていく新たな活動に取り組んでいるグループです。

「黒っ娘おばんざい」

直通電話/FAX 0795-28-3201

(お弁当等ご注文・お問合せの場合は直通電話におかけください。)

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京オリンピックが1年延期、プロ野球が当面延期、大相撲夏場所が2週間延期とスポーツ界にも打撃を受けています。そして、地域で開催するイベントや行事の中止。自治会などでは総会が中止となっています。このような状況の中、誰もが「手洗い」、「マスクの着用」など感染予防に心がけ、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息することを切に願うものです。